

★ 第 149 回 日本社会分析学会例会プログラム ★

日程：2025 年 7 月 26 日（土）～27 日（日）

会場：九州国際大学 3 号館 3 階

（北九州市八幡東区平野 1-6-1）

※両日とも対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド方式での開催を予定しております。

※持ち時間は、**S は 30 分**（報告 20 分質疑 10 分）、**L は 60 分**（報告 30 分質疑 30 分）を基本としております。配布資料は **40 部程度** ご準備ください。会場では報告にてプロジェクターが使えます。

※**報告者の方は、オンライン配信時に共有可能な資料についてもお準備ください**（事前に事務局までファイルをご送付ください。形式は word でも PDF でも ppt でも、一般的なものであれば構いません）。

※**なお、今後開催方法の変更等が生じる可能性もございます。事務局からの連絡にご注意ください。**

7 月 26 日（土）

※自由報告部会是对面開催+オンライン配信です。オンライン配信は zoom で行いますので、参加される方は各自ご準備をお願いいたします。なお、オンライン参加の方は、質問等がある場合はチャット機能をお願いいたします（ただし全てのご質問に対応できるとは限らないことをご了承ください）。

理事会（12:00～13:00） ※理事の先生方には後日ご出欠をお尋ねいたします。

開 会 13:05 3306 教室+オンライン

自由報告部会I（13:10～16:20） 3306 教室+オンライン

※配信 URL は <https://x.gd/jtnGJ> です。QR コードは→



1. 「防災ただ乗りからみる地域コミュニティの互恵性」(S) 三隅 一人
2. 「ニュースピークとしての『少子化問題』」(S) 高橋 征仁（山口大学）
3. 「存続危機に立つ自治体の現状と首長の意識——全国自治体調査から（1）」(S) 武田 祐佳（同志社大学）
休憩（10 分）
4. 「貧困対策に関する首長の認識とその規定要因——全国自治体調査から（2）」(S) 猿渡 壮（島根大学）
5. 「子ども・子育ての視点による地域コミュニティの検討」(1)——研究の目的と調査の概要」(S)
速水 聖子（山口大学）・益田 仁（中村学園大学）・高嵯 浩平（九州国際大学）・山下 亜紀子（九州大学）・横田 尚俊
6. 「子ども・子育ての視点による地域コミュニティの検討」(2)——子育てにおけるノルムとモラルの分析」(S)
益田 仁（中村学園大学）・速水 聖子（山口大学）・高嵯 浩平（九州国際大学）・山下 亜紀子（九州大学）・横田 尚俊

総会（16:20～17:40）※役員選挙がございます。

懇親会（18:00～） 学生食堂 会費 大学院生・学生 4,000 円、それ以外の方 6,000 円

※懇親会にご参加の方は、<https://x.gd/XhZMF>（←URL を短縮していますが「調整さん」です）を用いてお知らせください（ご参加の方のみで構いません）。人数の把握をできればと考えておりますので、ご協力お願いいたします。上記「調整さん」を用いての**申し込み締め切りは 7 月 14 日です**。

7月27日(日)

自由報告部会Ⅱ (10:00~12:00) 3306 教室+オンライン

※配信 URL は <https://x.gd/jtnGJ> です。QR コードは→



1. 「宗教的文脈の継続と継承——天理教里親家庭で育った元里子の経験から」(S) 桑畑 洋一郎(山口大学)
2. 「中国女性社区コミュニティワーカーの世代間協働に関する考察」(S) 洪 雨曦(九州大学大学院)
3. 「大分県由布市湯布院町における観光事業者と農業
——旅館組合と稲作農家との相互作用を中心として」(S) 富山 雄太(熊本大学大学院)
4. 「マートン社会問題論の枠組みと構築主義への違和感」(S) 山本 努(神戸学院大学)